

## 「現地メディア向けプレスツアーを行いました」

10月23日から25日、現地メディア向けプレスツアーを実施し、新聞・テレビ7社8名のジャーナリストとカメラマンが参加しました。このプレスツアーは、日本の開発協力が現地メディアで取り上げられる機会を増やすとともに、ウガンダの政府関係者、知識層およびウガンダ国民への情報発信を強化するためのものです。

今回、プレス一行はウガンダ東部を訪れ、ウガンダの地方において日本が実施している様々な開発援助の現場を視察しました。

### 【1日目の様子】

1日目は、ブイクウェ県ナイル職業訓練校を訪問し、同校で自動車整備を指導するJICAボランティアの木伏隊員の活動を視察しました。



「木伏隊員へのインタビュー」

続いて一行は、ウガンダ東部キブク県の無償資金協力「ウガンダ東部チョガ湖流域地方給水計画」のプロジェクト現場を視察しました。このチョガ湖流域5県では、公共施設や商業施設が集中し、人口密度の高い地域がありますが、こういった地域への給水率が概して低いことから、地域の住民は水不足に悩まされてきました。そのため、この案件においては、人口密集地域において、高架水槽、給水管等の設備を整備し、同地域における給水率の向上に寄与することを目的としています。



「新たに整備された給水施設の視察」

#### 【2日目の様子】

2日目、プレス一行は、パリサ県キバレ中学校を視察しました。1994年に設立されたキバレ中学校では、人口流入による生徒数増加に伴い、慢性的な教室不足に悩まされていました。これまで、1教室を生徒150人が使用するという劣悪な教育環境にあったところ、草の根人間の安全保障無償資金協力を通じて、新たに6教室分の教室棟を建設したものです。



「生徒たちによるパフォーマンス」

続いて、一行は、技術協力プロジェクト「保健インフラマネジメントを通じた保健サービス強化プロジェクト」の現場であるムバレ病院を訪問しました。ウガンダでは、質の高

い保健医療サービスを提供する基盤となる保健インフラ，特に医療機材の適切な使用やメンテナンスに課題があります。そこで日本は、「5S-CQI（カイゼン）-TQM」という手法を用いた病院内業務環境の改善，医療機材の使用やメンテナンスの能力向上に貢献しています。



「病院関係者へのインタビュー」

### 【3日目の様子】

3日目は，ウガンダ東部地域出身の大臣，政治家，地元有力者を招待して，ムバレ県内のホテルで，日本の開発協力に関する意見交換会を開催しました。この意見交換会には，亀田大使，チェプトリス水・環境大臣，フローレンス・ナムボゾ議員，ナンダラ・マファビ議員をはじめ，60名以上が出席しました。日本が支援するプロジェクトの関係者及び青年海外協力隊員からそれぞれの活動についての発表をしてもらい，参加者からは，「日本がウガンダの発展のために幅広い貢献をしていることがわかった。」「援助からの卒業は必要だ。しかし，地方部は依然として貧しく，教育や保健，水・衛生などの分野で，引き続き協力をお願いしたい。」といった意見が聞かれました。

プレスツアーの後，各紙・テレビ・ラジオでは我が国の開発協力の取組が次々と報道されました。多くの市民が目にし，耳にする新聞各紙やテレビ，ラジオで日本の開発協力事業が取り上げられることで，ウガンダ国民の我が国の開発協力事業への理解がより一層深まったのではないかと思います。